

火吹試金および実験室用炉向け 4穴キューペルラック灰化皿トレイ

商品番号: KT-MJ



前書き

高度な火吹試金および冶金試験向けに設計されたこのプレミアムな4穴キューペルラックは、高温の炉サイクルにおいて、確実な容器の整列、優れた耐酸化性、および均一な熱分散を保証し、信頼性が高く再現性のある灰化結果をもたらしながら実験室の生産性を最大化します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主なメリット
火吹試金 貴金属キューペレーション	試金炉内で金や銀を含む鉛ボタンを選択的に酸化する際、骨灰またはマゲシアのキューペルを保持します。	個別のキューペル操作を不要にし、均一なチャンバー気流を維持し、酸化鉛の漏れから炉の耐火炉床を保護します。
鉱山コアおよび地質鉱石試金	探査および品位管理テスト中に、粉碎されたドリルコアおよび鉱物濃縮物の複数サンプルバッチを処理します。	単一サンプルの装入と比較してバッチスループットを400%加速させると同時に、4つの検体すべてで同一の熱露出を保証します。
重量法石炭およびコークス近接灰化	残留揮発性物質の燃焼および鉱物物質の定量的測定のために、浅い磁製またはシリカ製の灰化皿をマッフル炉に運搬します。	オープンフレームのキャビティ形状により、制限のない酸素の拡散が促進され、有機炭素の完全かつ迅速な燃焼が保証されます。
貴金属精製および地金検証	従来の鉛採取およびキューペレーション手法により、高純度のスクラップ、ドレパー、および完成した金のジュエリー合金を分析します。	共面的な容器の向きを確保し、高温の液相段階での液体金属ビードの移動を防ぎ、サンプル損失を最小限に抑えます。
石油化学およびポリマー残渣試験	炭化水素ポリマーおよび石油コークスの徐加熱焼成および高温着火を通じて、耐火ルツボをサポートします。	堅牢な合金の安定性により、極端な温度での金属の剥離や触媒表面反応による二次的なサンプル汚染を防ぎます。

高温セラミック焼結研究	先端機能性セラミックス、電池用固体電解質、および電子粉末を仮焼するための複数検体用セッタープレートとして機能します。	4つのステーションすべてで均一な熱伝導率を提供し、熱保持期間中の局所的な微細構造の変動を低減します。
-------------	--	--

仕様パラメータ	技術の詳細
製品アイテム番号	KT-MJ
容器容量	4キューペル / 灰化皿 (2x2マトリックスまたはリニアレイ)
標準キャビティ直径	45 mm (直径38 mm~44 mmの容器に対応)
キャビティの深さ / リセス	転倒防止保持のための12 mm精密リムリセス
ベース合金材料	耐熱グレード310S (Cr25Ni20) ステンレス鋼 / インコネルオプション
オプションのセラミック材料	高純度コージライト・ムライト耐火物 (耐熱衝撃グレード)
連続動作温度	最大1150°C (金属合金) / 最大1300°C (耐火セラミック)
最高ピーク温度	1200°C (金属合金) / 1350°C (耐火セラミック)
フレーム構造スタイル	CNCレーザーカットおよび精密成形された、溶接補強材付き一体型ユニボディ

仕様パラメータ	技術的詳細
構造プレートの厚さ	3.5 mm～4.0 mmのヘビーゲージ荷重支持シート
トンググリップクリアランス	対向するハンドリング側の18 mm垂直クリアランスフランジ
大気ボイド比	底面および横方向のドラフト循環のために>35%の開放表面積
外形寸法（L x W x H）	145 mm x 145 mm x 28 mm（標準正方形構成）
表面仕上げ	予備酸化スケール防止コンディショニング付きパッシベートミル仕上げ
熱サイクルに対する耐性	外気への>500回の全温度直接急冷サイクルに対応
耐化学薬品性	中性フラックス、酸化鉛蒸気、および酸性性炉雰囲気に対して耐性あり